

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 麦一大豆輪作圃場における生育障害対策	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 本県における麦及び大豆は地産地消を推進する重要な品目となっており、麦大豆の輪作により効率的な土地利用が図られている。麦大豆の輪作は一般に連作障害が出にくい作型として導入されているが、近年、本県各地域の連作圃場の一部で生育障害や特定雑草の繁茂等による収量低下が顕著になっており、その発生拡大が懸念されている。そこで病害や生理障害などの診断を今後も進めるとともに、その対策に関する研究を推進していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 診断・同定及び防除対策の確立		
対応の内容等	病害、生理障害の診断・同定については、引き続き実施していきます。 連作障害の原因が病害、生理障害以外である可能性もありますので、現地の情報収集と提供を引き続きお願いします。		
解決予定年限	① 1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			